

	旅程管理主任者資格（総合）	旅程管理主任者資格（国内）
概要①	旅行会社が企画するツアーや団体旅行に同行する主任添乗員に取得が義務づけられている資格。研修修了後、下記全てを満たした者が認定証を取得できる。 (1)観光庁長官の登録を受けた機関による旅程管理研修の課程を修了 (2)一定の実務経験（研修の修了前後1年以内に1回以上または研修の修了後3年以内に2回以上）	
概要②	海外の業務が行える者	国内の業務のみ行える者
要件（受験資格）	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社または添乗員派遣会社への在籍 ・全国通訳案内士又は地域通訳案内士 	
研修科目	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業法令及び旅行業約款 ・旅程管理業務（国内旅行実務） ・旅程管理業務（語学） ・旅程管理業務（海外旅行実務） 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業法令及び旅行業約款 ・旅程管理業務（国内旅行実務）
試験方法	4日間の研修+修了テスト	2.5日間の研修+修了テスト
終了基準	研修をすべて受講し、かつ修了テストの成績が基準点（各項目満点の60%以上）に達していること	
エビデンス確認方法	旅程管理主任者証	
有効期間	発行から5年間	

	日本英語検定協会	国際ビジネスコミュニケーション協会
概要	<p>学生から社会人まで幅広い年齢層の受験を想定。 レベルは7つに分けられ、試験問題は、4技能のバランスを重視し、社会で求められる実用英語が出題されている。身の回りの日常会話から、教養を深める社会的な題材まで、実際に英語を使用する場面を想定した内容の試験である。</p>	<p>ビジネスパーソン向けの試験。 英語を用いたコミュニケーション能力を公正公平に評価することを目的とした世界共通の試験。 聞く・読む力を測る TOEIC® Listening & Reading Test と、話す・書く力を測る TOEIC® Speaking & Writing Tests により、4技能（聞く・読む・話す・書く）全ての英語コミュニケーション能力がわかる。</p>
要件（受験資格）	不問	不問
エビデンス確認方法	公式証明書（合格証明書）	公式認定証
有効期間	有効期間なし	有効期間なし ※公式認定証の再発行期限は2年

	サステナブル・ツーリズム国際認証 GSTC公認トレーニングプログラム	Leave No Trace
概要	<p>観光地および観光産業を対象にした GSTC国際認証制度の基準・指標を理解し、事例をもとに国連世界観光機関 (UNWTO)が推奨する持続可能な観光を包括的に学ぶトレーニング。</p> <p>4つの分野（持続可能なマネジメント・社会経済のサステナビリティ・文化的サステナビリティ・環境のサステナビリティ）・合計38項目が設定されている。</p>	<p>環境に与えるインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境行動基準。すべてのテクニックが、7つの原則を基にしており、誰にでもわかりやすく、楽しく実践し、学ぶことができる。</p> <p>90年代に米国で発祥し、政府の土地管理機関と協定を結び、国立公園や州立公園内でのパンフレットへの掲出やレンジャープログラム等に採用され広く浸透している。</p>
コース	-	マスターエデュケーター／トレーナー／ワークショップ
エビデンス確認方法	修了者に授与される修了証	LNT Master Educator（マスターエデュケーターコース受講者） / LNTトレーナー（トレーナーコース受講者）資格
有効期間	-	1年間
その他	希望者はGSTC公式の英文オンラインテスト（教科書・辞書無制限に利用可）を受けて合格するとGSTCの公式修了書が取得可能。	-

	Wilderness Medical Associates Japan (WMAJ)			上級救命講習 (消防)	救急法基礎講習 (日本赤十字社)
	Wilderness First Responder (WFR)	Wilderness Advanced First Aid (WAFA)	Wilderness First Aid (WFA)		
概要	プロフェッショナルレベル すべての野外で活動される専門家や愛好家のための決定的な総合的な救急法トレーニングコース。	アドバンスレベル ディレクタークラス、登山リーダー、過酷な環境や状況で活躍される方のための包括的な講習。医療アクセスが劣悪な環境で長引く傷病者のケアをカリキュラムに含む。	ベーシックレベル 日帰り旅行や短期の冒険をされる方、災害ボランティアの方などが対象。目の前で発生する事故、災害による傷病者への評価を中心に学習。最も基礎的なコース。	普通救命講習の内容に加え小児・乳児の心肺蘇生法、外傷の手当て、保温法、体位管理法、搬送法を実施し、実技及び筆記試験を含め8時間。	日常生活における事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などの知識と技術を習得。
要件 (受験資格)	WFAの要件に加え、WMA認定による有効期限内のWAFAの保有者	右に同じ WFAベーシックレベル資格の非保有者も受講可能	16歳以上(20歳未満は保護者の同意が必要) 野外での実習に参加可能な者	主催地域在住者 原則中学生以上	満15歳以上の者
エビデンス 確認方法	WMA資格証			筆記試験合格で認定証を付与	全課程修了者に受講証、検定合格者に赤十字ベーシックライフサポーター認定証
有効期間	資格取得より3年間有効			発行日から3年間	発行日から5年